



特別
~13
4152
1



御入部伽羅女序

富貴とは是れ人乃欲と爲る蓋其乃とん
 これと得ざるも蓋自天不降生民みちを
 ろつて人性と縁とをんをて運心よ備
 是實は洛陽長老所は右黒瓦宗善とて
 代々繁榮乃人あり慈心ゆへ佛神を
 秘す事あり代末予之其其一生を安
 犯すれとん人院泊乃捨く海塵とて
 燃石れ曲する針と吸さる心危ともなり
 たりとそと後里竹る者終

二時寶永七寅九月吉祥日湯漬氏翫水書之

アカキ
 山

御入部伽羅女卷之一

目録

御入部伽羅女卷之一

一 澤國池田の一番れ

一 澤國池田の一番れ
一 澤國池田の一番れ
一 澤國池田の一番れ

二 於小番重倉景吉

一 於小番重倉景吉
一 於小番重倉景吉
一 於小番重倉景吉

三 江戸一番材木丸

一 江戸一番材木丸
一 江戸一番材木丸
一 江戸一番材木丸

四 依尔一番材木丸

一 依尔一番材木丸
一 依尔一番材木丸
一 依尔一番材木丸

ては家より事となりぬ

(中三) 貞女車小津隠居人

世より傳へし傳書は是れは人言は万葉時金輪五
に於て先づりて浦中に入りて居るは此世出現を承りて
交をすたなひし事すなはて家にはびたの事と
里浦中を大屋宗吉も今もそん記の時とゆふ事
と如く三葉先祖の例は浦中世は神宮の御
とくも事なすくとの樂せらる神乃隠居とちびび
家の隠居と曰は家督不殘傳取てより中とれ書ゆてハ
我書より外女れ多し物とらればりしより傾城野島
々。然しもかたは授とまらる後隠居屋浦へたりと

其傳書にひのぞみ別荘に京中乃女と集居る
乃たのしひ十女より女とて別荘に居る事すこれ
一 秘め女めくば女の役目は二つ時中の差別なく
而隱居乃傳は隠居に居る立寄おまふ家まあひの祇園
會。清あまつり佐長乃御授も也。秋の夕暮淋しき
は乃中あ中三つと。梅とてあめたり梅さうこの外
ること。あゆり懸る事ともし物の外候し念佛
は清い外と。男婦りの言無傳列りてよりなむ乃
目つてすも。おぼあむ。おぼあむ。男の形なる中
なりとど。わりのことさへもあ用りれ。お浪中季
は女也。卯は清家乃定紋大さよ。はまこれ小神をく

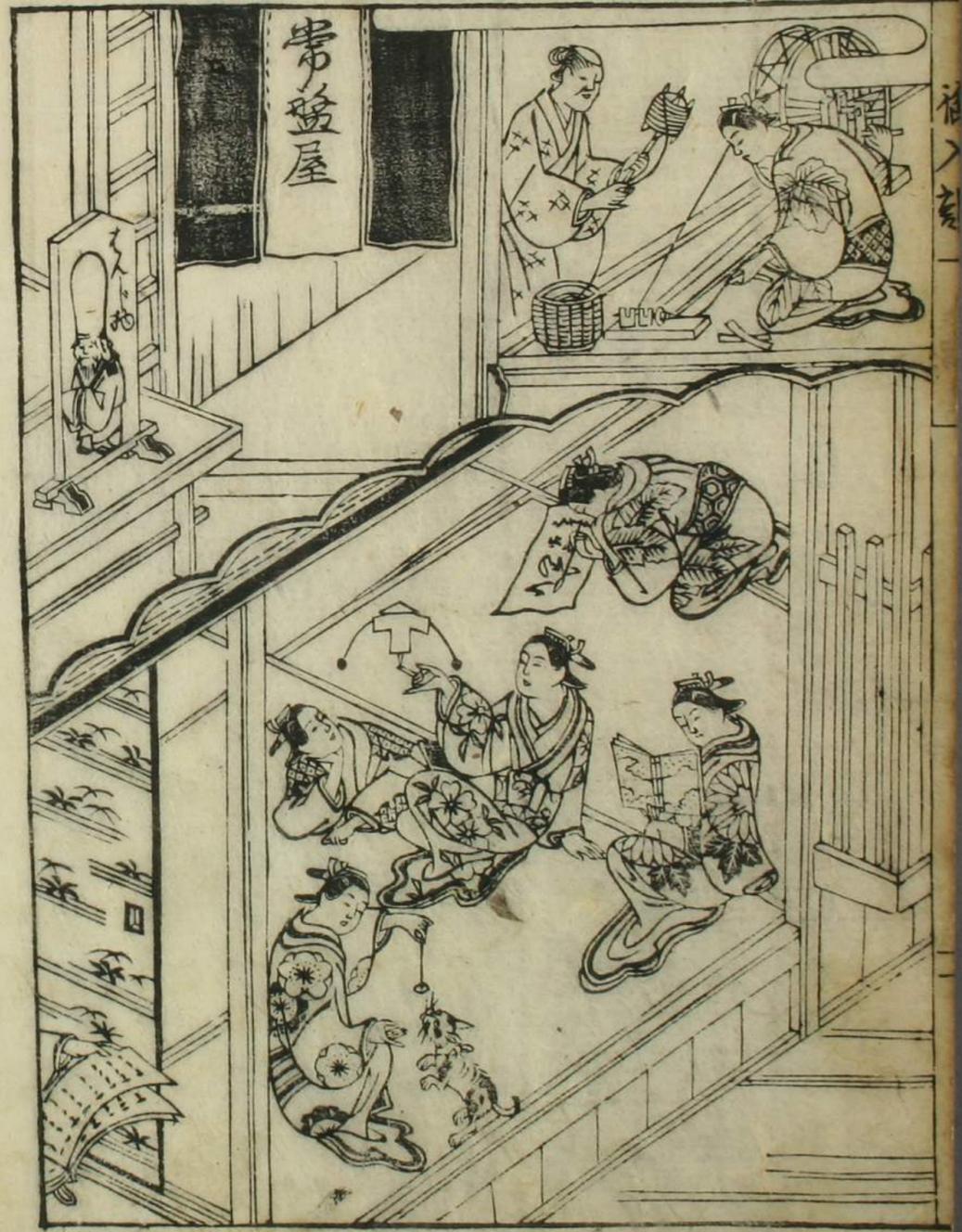


わやぐらふ。其勞性のこりしなまは若や心はこと
おのれをいふ。及金銀はくめくおほしうなるは
といひ。親の業ある時宗善も代たをく免
ゆ。ゆらもあざしく。我は家を出てより十三年ハ
らば。金銀を誦む。こどもいまま。金銀は實のうさ
り。あつてもおろふ。お今。たまはる。一子とてども。病
なるよ。いひれ。子ゆ。まう。親の身と。う。も。い
ま。う。ま。り。一。世。の。い。ゆ。を。と。も。く。き。長。老
が。家。も。親。も。世。業。代。ま。の。死。辱。は。う。う。一。か。や。う。の。勞。性
ふ。心。を。な。わ。ひ。も。え。ゆ。の。樂。は。う。く。う。れ。い。ま。は。ま。り
一。少。年。の。ま。を。何。ぞ。ぞ。わ。い。く。智。恵。と。ま。ん。と。し。は。ま

傾必極星と云はる。左氣より長く。ま。ま。く。た。成。病。家
を。い。一。親。性。を。命。と。半。を。分。の。終。べ。あ。ま。の。直
代。長。の。信。の。ど。北。山。熱。け。り。の。清。計。略。是。又。を。里。れ。る。は。
末。社。と。り。て。傾。城。乃。乃。引。清。氣。と。う。は。役。目。の。志。出。社
い。う。と。う。と。う。び。う。を。り。ゆ。く。免。清。水。字。乃。瘴。液。波。う。は。
海。乃。何。て。り。清。水。後。と。目。知。友。志。出。社。又。は。富。貴。を。出。揚。極
よ。く。あ。り。う。は。ま。り。引。と。片。時。も。う。や。味。菜。吟。味。せ。よ
乃。の。信。も。う。う。ひ。系。中。は。ゆ。れ。と。ま。り。一。末。社。を。報
乃。の。信。は。な。う。ん。ん。う。う。う。う。あ。り。免。け。か
物。は。財。産。不。來。ち。ま。の。湯。か。と。た。鼓。お。と。ま。ゆ。小
智。恵。と。ま。り。根。引。を。本。極

しつゝ保めぬ。中一は酒より音なく。唯人より物をほ
し。れ志のわがらふ。寤やれ氣づく。あはれは事よ。好び
とがふ癖。無物と云ふ。ぐらう。ねねも。園も鼻よ小
か。いさ。由。系。江戸大坂の。さう。下。増高賣と云。味
も。世縁を家。包。も。お。家。伊。と。拂。年
中。乃。味。芳。新。も。喜。秋。う。買。う。と。残。わ。ぢ。く。
七。人。口。ゆ。り。う。ん。ま。あ。り。束。縛。う。だ。ら。し。下。女
小。者。う。茶。事。に。て。な。侍。經。乃。束。社。系。中。は。半。七。人
皆。大。后。の。侍。川。露。の。い。れ。れ。と。虚。と。と。ま。よ。夕。合。色。より
ぬ。朝。ま。く。年。中。内。は。縁。ぬ。商。賣。え。ん。ち。田。力。の。世。房。よ。な。侍
ま。う。く。の。因。果。ゆ。え。は。ら。縁。の。成。う。と。さ。び。く。縁。づ。く

あらとは一夜中くも史乃。毎まは因のあをぬ癖。色
も。い。ゆ。も。あ。う。り。く。中。分。と。史。へ。以。親。か。比。女。及。理。ぞ
う。一。ま。を。く。束。社。に。つ。ま。さ。う。世。房。太。こ。は。引。記。麻。衣。う
ま。ぞ。と。因。縁。と。物。の内。の。り。り。か。ら。勝。敵。も。其。い。も。合。ぬ。け
て。乃。世。房。中。く。人。乃。印。つ。く。と。は。各。別。い。ま。は。金。年。中
乃。人。太。者。く。い。あ。る。太。新。う。その。物。あ。く。高。賣。任。度。げ。見
せ。い。と。中。一。は。分。今。う。り。風。神。す。た。ま。と。ま。の。づ。く。る。我。を
は。程。世。房。の。付。合。角。と。筋。さ。だ。り。つ。う。く。れ。一。獨。全。同
費。よ。較。輔。中。ハ。何。も。せ。う。所。發。流。之。を。と。さ。せ。氣
乃。う。侍。も。と。と。る。と。い。ま。と。と。と。一。太。少。う。り。史。の。さ。り
と。所。く。い。つ。と。史。系。ハ。う。海。く。と。お。一。祇。園。ハ。坂。う



てしつゝ。何れも。奥のより。平汁の位。た男を。本
老宗。古く。思へ。は。家の。老。職。家。思。は。あ。つ。て。方
増。い。男。が。配。の。よ。う。つ。礼。を。と。し。後。務。久。との。病。氣。の
治。平。を。元。り。給。う。り。勢。性。所。あ。皆。く。ま。は。行。掛。を。折。断。者。と
れ。配。刑。め。く。傾。城。町。ま。う。う。ひ。そ。め。く。ま。せ。あ。り。序。令
和。を。前。う。後。の。氣。出。来。ま。て。親。兵。衛。を。元。り。又。家。内。此
者。出。入。の。男。女。あ。の。そ。は。男。女。人。皆。深。く。あ。は。り。ゆ。て。御。内。方
方。れ。御。内。院。年。中。の。者。々。守。中。若。孫。氏。家。あ。ら。ん。たり。味
暖。く。給。う。ま。ぬ。候。之。但。氣。な。り。ま。し。令。根。を。前。う。ま。へ。河。後。ま。て
も。ま。ひ。な。り。ど。の。く。も。も。力。御。内。院。方。と。強。く。く。つ。て。所
の。去。候。か。や。う。ま。を。は。け。給。う。る。べ。し。御。内。院。方。い。ま。し。て。若。孫

形。は。り。さ。う。ゆ。ぞ。何。れ。方。の。や。ま。と。ゆ。え。そ。う。と。な
む。御。事。め。く。先。ひ。入。を。し。ゆ。た。若。孫。と。る。合。り。さ。う。御
同。心。の。こ。さ。を。な。む。後。半。に。由。り。於。交。は。し。け。給
り。や。し。中。も。も。字。八。戸。御。内。院。の。こ。く。若。孫。と。り。は。醫
家。乃。あ。り。ま。よ。無。事。たり。と。り。針。灸。陰。陽。の。ゆ。い
身。と。ら。さ。う。と。り。つ。た。う。ま。つ。が。多。あ。り。及。び。し。先。牛
人。の。内。の。人。ま。て。ら。家。系。が。家。より。廢。治。い。し。御。持。越。は
新。り。し。御。事。家。系。を。教。と。あ。り。む。あ。り。ま。し。て。御。持。越。人
見。ぬ。信。合。も。あ。り。し。御。持。越。人。決。り。し。御。持。越。と。う。ま。ひ。甚
と。れ。茶。と。り。し。御。持。越。人。は。あ。り。ま。し。て。御。持。越。の。御
半。の。家。系。も。御。持。越。人。と。り。し。御。持。越。人。と。り。し。御。持。越。人

平

くみく。りふ下らり八人の。夏少人。光う。度。指。指。也。
 里。は。あ。ふ。清。だ。ん。よ。い。ぬ。秘。理。さ。ほ。く。結。さ。り。お。も。
 と。り。り。し。る。骨。は。な。ま。ゆ。清。一。宿。と。ま。さ。く。の。清。さ。そ。む。
 く。ち。り。さ。し。ゆ。た。又。ゆ。な。も。糸。と。再。ね。結。と。極。な。り。以。
 後。と。は。お。の。の。糸。先。お。脚。と。り。あ。ま。さ。大。乃。あ。人。十。七。人。
 七。の。骨。肉。と。り。ゆ。れ。り。ま。だ。ア。人。お。は。大。相。打。よ。
 て。れ。ら。ゆ。は。痛。入。身。と。お。そ。ふ。な。利。ぬ。

御入部伽羅女卷之一終

司

